

冬季休業後指導校長講話

皆さん、あけましておめでとうございます。

19日間の冬休みはいかがでしたか？それぞれに有意義な休みを過ごすことができたでしょうか。

今年干支は卯年ですね。このことを本で調べてみたら、子年（ねずみどし）は十二支の最初ということで種をまくのに適した年、次の丑年（うしどし）はまいた種が芽を出し成長するのを忍耐強く見守る年、次の寅年（とらどし）はその芽が勢いよく伸びはじめる年だとされています。そして卯年（うさぎどし）は、その芽が若葉となり成長していく年だそうです。たくさんの枝葉が伸びることから競争が激しくなるともされますが、全体的に見れば新たな活気が生まれてきますから、新しいことに挑戦したり、区切りをつけ心機一転頑張るのに適した年といえるのだそうです。

さて、『一年の計は元旦にあり』ということですが、自分は何をしたいのか、何をしなければならないのか、何ができるのかをよく考えて、「今年こそは」と新しい年への決意はできたでしょうか。自ら決めた目標に向かってしっかり実践していきましょう。

今日から授業が始まります。この時期は3年生にとっては進路決定に向けて、1・2年生は進級に向けての準備の時期であると同時に、1年間の締めくくりの時期でもあります。3月には誰もが、「いいクラスだったね」「いい学年だったね」と言えるように頑張りましょう。

そのために、あらためて皆さんが日々の生活の中で心がけてほしいことをお話します。まずは、落ち着いた環境の中で授業に集中してしっかり勉強すること、学年行事や部活動に燃えること、そしてさらにもう一つ、是非とも実行してほしいことは、『他の人のために何かできないか』ということを考えながら生活してほしいということです。皆さんは、自分が困ったり苦しんでいるとき、助けられたり励まされたりした経験があると思います。皆さん一人一人が、自分から他人のために何かができれば、自分がこの世の中に存在している意義を実感できますし、互いに支えあって暮らす喜びを感じることができるはずです。そうすれば、今よりずっと楽しいクラス・学年になってい

くことでしょう。「他の人のために何かすること」が自分自身のためになることを心に刻み、充実した学年の締めくくりができようがんばりましょう。